

推進委員応募状況

応募した者								応募の理由
氏名	職業	年齢	性別	区域	経歴	農業経営の状況	農業委員への応募	
藤澤 重徳	農業・農産物販売ワークショップデザイナー	60	男	豊田	H15～長野県公立高校教員 R1～豊田地域運営協議会調査・研究部長 R2.4 教員退職後、農業・農産物販売開業	稲作 40a 果樹 20a 野菜 20a	有	<p>(1)豊田地区など中山間地域の近未来に対する強い懸念 著しい人口減少が続く豊田地域など中野市の中山間地域では農業後継者が乏しく、このままでは3～5年後には耕作者がいなくなり遊休荒地が増加することが強く懸念されます。 持続可能な地域を創ることをめざして小さな拠点づくりにかかわってきた私は今すぐに何かしなければならぬ気持ちになっています。</p> <p>(2)農業の可能性にかける都会の人々との交流で得た刺激 今年2月より京都にある週末農業学校スモールファーマーズカレッジ(SFC)に入学し有機栽培による野菜づくりの勉強をしています。 ここには関西の若い会社員の方を中心に毎年80名もの人々が学んでいますが、会社員としての安定した生活を辞めて新規就農をめざす人もいて農業の大きな可能性を感じます。</p> <p>(3)SDGsを自分ゴトとして実践したいという思い 昨年10月の台風19号の被災体験を通じて地球的規模の気候変動が身近に迫る危機であることを実感した私は、問題を自分ゴトとして考えるようになりました。 農業だけでなくSDGsにかかわるワークショップも仕事とする私は農業が地域の経済のみならず環境保全にも役立つことを自ら実践してみたいと思います。</p>